体験する × 好朋友 日本文化体験の場づくり

モノとヒトが集う

『好朋友』にはさまざまな
日本の文化が登場します。
生徒たちに実物で体験させたい。
先生の思いから
「好朋友 日本文化体験の場づくり」は始まりました。

2016年度に、最初の「好朋友日本文化体験の場」（以下、体験の場）が遼寧省・大連市第31中学に誕生しました。2017年度は上海市工商外国語学校、広東省・中山市外国語学校、華南師範大学第2付属中学付属南沙小学校、黒龍江省・ハルビン市朝鮮族第1中学にも相次いで誕生し、計5ヵ所になりました。各校が装飾も含め施設を準備し、TJFが浴衣、カルタ、五月人形、学校の制服、百人一首、絵本、教材などを寄贈しています。体験の場は、学校内にありますが、その学校の生徒だけでなく、近隣の人たちも使うことができます。また学校がある地域に暮らす日本人とのネットワークをつくり、浴衣の着付けに来てもらうなど、さまざまな人たちをつなぐ役割を担っています。

KEY WORD

『好朋友』とは…

2006年、大連市で第2外国語としての日本語教育が中学校に導入されました。大連教育学院とTJFは、第2外国語教育用教材『好朋友』を共同制作し、07年に第1巻を出版、09年に全5巻が完成しました。その後、他の省でも第2外国語として日本語教育を導入するところが増えています。

遼寧省大連市
第31中学

黒龍江省・ハルビン市
朝鮮族第1中学

上海市
工商外国語学校

広東省・華南師範大学
第2付属中学
付属南沙小学校

広東省・中山市
外国語学校

七夕の願い

中国の七夕は好きな人と結ばれるように、恋人同士が仲よくずっと一緒にいられるように、とお祈りします。日本では恋愛に関係なく、いろいろな願いがかなうように祈ることを生徒に説明して、みんなで短冊に願いことを書いて、体験の場に飾った笹に結びつけました。

（中山市外国語学校　伊藤瞳先生、席芬先生）

自慢の畳

日本風にするためにこだわったのは障子、畳、天井です。特に畳は、上海に工場をもっている日本の畳屋さんを見つけました。

（上海市工商外国語学校　王佳先生）

ハルビン市
大連市
上海市
広州市
中山市

2017年度事業データ

日本語図書・教具等の寄贈
期間：2017年4月～2018年3月、寄贈先：広東省・中山市外国語学校、華南師範大学第2付属中学付属南沙小学校、黒龍江省・ハルビン市朝鮮族第1中学、上海市工商外国語学校、遼寧省・大連市第31中学、助成：（公財）三菱UFJ国際財団

経験交流会
期間：2018/3/23（金）～24（土）、場所：広東省・中山、助成：（公財）三菱UFJ国際財団、会場協力：中山市外国語学校、講師：武田育恵（日本語教育専門家）、実践報告：付瑶（大連市第31中学日本語教師）、参加者：25名

経験交流会

体験の場を活用してもらうために、先生方が実践を共有する機会を設けています。2017年度は5校から10名が中山市外国語学校に集まりました。長年『好朋友』を使って授業をしている南沙小学校の武田育恵先生から、体験の場にある物を教師が見せるだけではなく、生徒の年齢も考慮して思考力や分析力を育てるような活動にするためのポイントについてレクチャーがありました。その後、グループに分かれ、体験の場にある物を使った授業案づくりに取り組みました。ある班は年中行事をテーマに取り上げ、生徒を12グループに分け担当月を決めます。各行事に何をするのか、決まった料理はあるのか、中国と同じ行事があるのか、違うことは何かなどを調べて発表させるものでした。このときに、浴衣やカルタなど体験の場にある物を実際に使います。日本語も適宜使うよう考えられていて、多くの先生から取り入れたいと声が上がりました。

好朋友日本文化体験の場づくり2018

2018年度は「私の学校の制服をデザインしよう」プロジェクトが進行しています。体験の場がある5校のうち3校と大連市内の中高校で日本語を学ぶ生徒が、学校や地域の特徴を考えて制服をデザインし、日本語でプレゼンテーションするものです。デザインやプレゼンテーションを通して、思考力、想像力、表現力を磨くことが目標です。5月の研修で授業案をつくり、6月から9月にかけて日本語の授業で実施、11月にプレゼンテーションを行うという半年にわたるプロジェクトです。

好朋友web

『好朋友』巻頭に収録している、日本と中国の中学生の友情を描いたストーリー漫画「大連物語」を日中両言語で楽しみながら読むことができます。
『好朋友』第1、2巻を授業で使いたい方は、こちらからお問い合わせください。

好朋友

公益財団法人国際文化フォーラム　〒112-0013 東京都文京区音羽1-17-14 音羽YKビル3F　Tel : 03-5981-5226　Email : forum@tjf.or.jp